



2021年5月7日

各 位

会 社 名 アイエーグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 教 行
(JASDAQ・コード7509)
問合せ先 常務取締役 岡野 良 信
(TEL. 045-821-7500)

連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年2月5日に公表いたしました「2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	32,624	△652	△561	△2,209	△1,483円 10銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2020年3月期通期)	38,160	1,159	1,297	594	397円85銭

2. 連結業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による当社への影響を合理的に算出することが極めて困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

売上高につきましては、カー用品事業および建設不動産事業において、前年を上回る業績推移となったものの、ブライダル事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により当連結会計年度中に予定されていた婚礼の延期や規模縮小および中止が発生したことにより大幅な減収となり、連結業績においても前年と比べ減収となりました。

利益面につきましては、上記売上高の要因により営業損失が652百万円となる見込みであることに加え、2021年2月5日に開示した通り、当第3四半期においてブライダル事業施設の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」

に基づき減損損失として 1,339 百万円を特別損失に計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純損失は 2,209 百万円の損失となる見込みであります。

なお、連結業績予想につきましては、今後の新型コロナウイルス感染症の状況や経済情勢の動向等により、さらに変動する可能性があります。

以 上